

令和6年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・英語表現に親しみやすい英語の歌を導入することで、英語への苦手意識を減らすことができた、児童の学習意欲を高めることができた。
- ・既習の語句や表現を繰り返し使用したり、ALT の話を聞き取る時間を確保したりするなどして、英語の表現に慣れ活動を行ったことで、身近な食べ物などの単語を理解を高めることができた。

(2) 課題

- ・アルファベットの書き取りや、音声と文字をつなげて理解することに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年			
第5学年		(第4学年時)	
第6学年	全体的に目標値を下回っている。	(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曜日や日常の動作、野菜の言い方については、聞き取れているが、曜日や人物の表現などあまり使用頻度が低い単語が聞き取れない傾向にある。 ・アルファベットを聞き取り、その文字を書くことが目標値を下回っている。音声と文字をつなげて理解することに課題がある。	・道案内や人物についてたずねる表現を聞き取ることに課題がある。 ・記述では、全体的に目標値を下回っており、英作文を書くことに課題がある。	・身近な人について、簡単な語句や表現を用いて書くことが目標値を大きく下回っている。自分が書きたいことはあるが、英語でどのように書いてよいか分からないという課題がある

(3) 授業改善のポイント（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・既習の語句や表現を繰り返し使用したり、ALT の話を聞き取る時間を確保したりするなどして、英語の表現に慣れる。 ・文字を見ながら発音したり、聞き取りを行ったりするなど、音声と文字をつなげて理解できるようにする。	・Small Talk にペアトークを取り入れ、既習の簡単な語句や表現を使い、その場で受け答えする場面を意図的に設ける。 ・毎時間、学習した語句や表現を使い、書く時間を意図的に設ける。	・様々な語句や表現をインプットしたり、英語に興味をもったりできるように、簡単な英語の歌を授業の初めに歌ったり、絵本を読み聞かせたりして豊かな表現に触れさせる。